

株式会社 三愛ビル管理

DX宣言書

2024年12月6日
株式会社 三愛ビル管理
代表取締役 相田 克之

□ 経営理念

「技術と信頼のサービス会社を目指し、お客さまの立場に立って、最高の仕事をしよう」

三愛精神

- ・ 奉仕 顧客を愛す
- ・ 遂行 仕事を愛す
- ・ 愛社 会社を愛す

□ DXビジョン(2～3年後にありたい姿)

- ◆ 業務効率化を推進するとともに、情報の一元管理を可能にするデジタル基盤を構築し、社員が本来の業務に集中できる環境を整備します
- ◆ 自律型システム等の先進技術を活用した業務革新を推進し、持続的に進化し続ける組織を目指します

□ DX戦略・施策

➤ フェーズ1(現在 ～ 2025年6月)

戦略 「現状把握と課題特定および計画策定」

- 施策
- ・ 現状把握のため、社内アンケートやヒアリングを実施し、業務の流れを可視化
 - ・ 具体的な課題を特定し、取り組みの優先順位を設定
 - ・ DX推進の方向性を明確にし、デジタル基盤の構築から先進技術の導入までを含めた、トータルの実行計画を策定
 - ・ 実行計画を推進していくためのDX推進チームを設置

➤ フェーズ2(2025年6月 ～ 2026年11月)

戦略 「実行計画に基づいた業務効率化の推進およびデジタル基盤の構築」

- 施策
- ・ 業務効率化に適しているだけでなく、今後のDX推進を見据えた全体最適なシステムを選定・導入
 - ・ システムのスムーズな導入と活用を図るため、利用マニュアルを作成・整備し、必要に応じて勉強会を実施
 - ・ 導入したシステムを活用し、勤怠管理や案件管理のペーパーレス化・業務効率化を推進
 - ・ 先進技術に関する最新情報を収集し、現場に適した自律型システムの導入に向けた事前準備を実施

➤ フェーズ3(2026年6月 ～ 2028年5月)

戦略 「データ利活用によるタイムリーな経営判断の実現および先進技術を活用した業務革新の推進」

- 施策
- ・ BIツール等を活用したデータ分析・可視化を行い、データに基づいた経営判断を実現
 - ・ 自律型システムの試験運用を開始し、本格導入に向けて業務効率やコスト削減の効果を検証
 - ・ 更なるDX推進に向け、AIやIoT技術を活用した予知保全やスマートビルディング対応システム等を調査

□ DX推進体制

- ・ 代表取締役がDX推進における実務執行統括責任者を務めます
- ・ DX推進チームがDX戦略実行の中心的役割を担います

□ DX推進目標

- ・ 実行計画策定 : 完了(～2025年6月)
- ・ 紙の使用量 : 2024年度比 50%削減(～2028年5月)
- ・ 事務作業時間 : 2024年度比 30%短縮(～2028年5月)